



レ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」はスイス最古の歴史を誇り、スイートを含め全 101 室を擁して、ライン川沿いに威風堂々と建っている。創業は 1844 年であるが、前身となった宿は 1681 年まで遡るといふ伝統を誇り、スイスはもちろんヨーロッパでも最古といわれる歴史のホテルだ



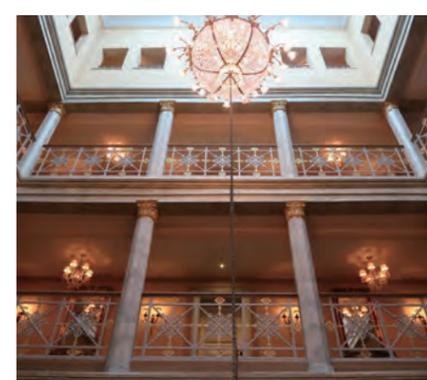
華麗なシャンデリアが煌めくエントランスホール。ホテルは全館クローズして大改築を施した後、2006 年に再オープンしている。その際、それまでドイツ語の名称であったドライ・ケーニグ「Die Drei Konige」からフランス語のレ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」に変更された



フランス語で「3人の王様」レ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」という意味をもつ名称は、イエスの誕生を祝いによって来た新約聖書に登場する「東方三博士」に由来する



ライトアップされた美しいホテル正面ファサード



エントランスホールは吹き抜けになっており、各階にはシャンデリアを中心に回廊が設けられている



賑やかなディナー前のメインバー「Bar Les Trois Rois」

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

Hotel Les Trois Rois

スイスには歴史的名門ホテルといわれるホテルが多数あるが、このレ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」はスイス屈指の歴史と格式を誇る名門ホテルである。創業は 1844 年であるが、前身となった宿は 1681 年まで遡るといふ伝統を誇り、スイスはもちろんヨーロッパでも最古といわれる歴史のホテルだ。ドイツ、フランスと国境を接するバーゼルの



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974 年 Munich Re 入社。
2001 年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで
「世界のリーディングホテル」を連載中。
多くの美しい写真と興味深いコメントで、
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



ドイツ、フランスと国境を接して流れるライン川を望む気品あるグランドロビー



ミシュラン 3 つ星ダイニング「Cheval Blanc」に接してグランドロビーが位置する



アフタヌーンティーが人気のロビーラウンジ



メインダイニング「Cheval Blanc」はミシュラン3ツ星を持つバーゼル屈指のレストランだ。日本の「グラシアニ神戸北野」の総料理長、鷗鷗進氏が副料理長に抜擢され、わずか8年でミシュラン3ツ星を獲得したという輝かしい歴史を持つ



「Cheval Blanc」の華麗な空間。現在はエグゼクティブシェフの Peter Knogli 氏が腕を振っている



レストランスタッフは皆フレンドリーだ



バーゼルの街並みを描いたパステル画がアクセントのブラッセリー「Brasserie Les Trois Rois」



テラス席からは滔々と流れるライン川を望める



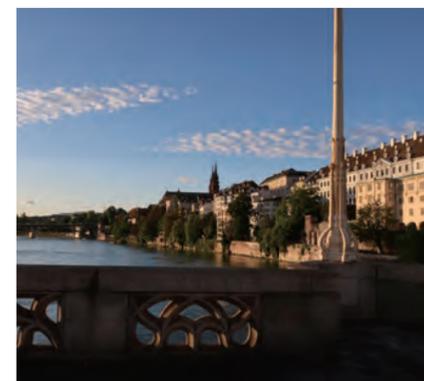
トップスイート「Napoléon Suite」のベッドルーム。1797年、フランス皇帝ナポレオンの逗留に由来するシングルスイートである。テラスからライン川とバーゼルの街並みを望める



「Napoléon Suite」のリビングルーム。約70㎡の広さを持つ壮麗なスイートだ



天井はかなり高く、クラシカルな装飾と豪華なシャンデリアに目を奪われる



朝焼けに染まる古都バーゼルと美しいラインの流れ



ホテル GM からの心温まるウェルカムアメニティー

旧市街、ライン川沿いにたたずむ瀟洒なホテルはある種のオーラが感じられる。フランス語で“3人の王様”レ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」という意味をもつ名称は、イエスの誕生を祝いにやって来た新約聖書に登場する“東方三博士”に由来し、その3人の彫像がホテル正面ファサードに掲げられている。

このホテルが公式の歴史記録に登場するのは1681年。3人の王の彫刻が作られたのは1754年で、1797年にはフランス皇帝ナポレオンも宿泊している。ホテルは全館クローズして大改築を施した後、2006年に再オープンしている。その際、それまでドイツ語の名称であったドライ・ケーニゲ「Die Drei Konige」からフランス語のレ・トロワ・ロワ「Les Trois Rois」に変更された。

レ・トロワ・ロワはスイス最古の歴史を誇り、スイートを含め全101室を擁して、ライン川沿いに威風堂々と建っている。今回はシングルスイート「Napoléon Suite」を紹介したい。約70㎡の広さを持つ壮麗なスイートで、テラスから滔々と流れるライン川を望める。メインダイニング「Cheval Blanc」はミシュラン3ツ星を持つ華麗な空間で、バーゼル屈指のレストランだ。日本の「グラシアニ神戸北野」の総料理長、鷗鷗進氏が副料理長に抜擢され、わずか8年でミシュラン3ツ星を獲得したという輝かしい歴史を持つ。現在はエグゼクティブシェフの Peter Knogli 氏が腕を振っている。その他、ブラッセリー「Brasserie Les Trois Rois」、メインバー「Bar Les Trois Rois」も極めてクオリティが高い。また、ロビーラウンジ階下にあるシガーサロン「Salon du Cigare」もゴージャスな空間で楽しめる。

バーゼルはスイス随一の学芸、文化の中心都市として知られ、数多くの美術館や博物館が点在している。また、BIS規制で知られる国際決済銀行の所在地であり、有名なバーゼルフエアは世界最大級の時計・宝飾の見本市の開催都市でもある。スイスは昔から家族経営の宿を含めてホテル産業が発達した国だが、独・仏・スイスの国境が接する国際都市バーゼルにある、かくも歴史に彩られたレ・トロワ・ロワに滞在する意義は大きいと言える。